



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月13日

上場会社名 北海道中央バス株式会社

コード番号 9085 URL <https://www.chuo-bus.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二階堂 恭仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 安田 徹

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札

TEL 0134-24-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	16,440	3.4	212	—	318	—	258	—
2025年3月期中間期	15,901	3.2	433	—	246	—	390	—

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	98.71	—
2025年3月期中間期	149.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	42,392	29,896	70.1
2025年3月期	39,514	29,600	74.5

(参考)自己資本 2026年3月期中間期 29,722百万円 2025年3月期 29,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2026年3月期	—	—			
2026年3月期(予想)			—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2026年3月期の配当予想については、未定としております。

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	37,800	5.0	2,300	1.5	2,500	5.2	1,900	16.0
								726.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) マイラシーライフサポート (株) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	3,146,000 株	2025年3月期	3,146,000 株
-------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2026年3月期中間期	529,886 株	2025年3月期	529,826 株
-------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	2,616,122 株	2025年3月期中間期	2,616,383 株
-------------	-------------	-------------	-------------

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中、緩やかに回復しました。道内の経済においては、個人消費が堅調に推移するとともに、観光需要が増加しました。

一方では、物価上昇や人手不足の状況が続くなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当中間連結会計期間の業績は、売上高は16,440百万円（対前年同期比3.4%増）、営業利益は212百万円（前年同期は433百万円の営業損失）、経常利益は318百万円（前年同期は246百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する中間純利益は258百万円（前年同期は390百万円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 旅客自動車運送事業

乗合運送事業は、人員不足により札幌地区を中心に路線の廃止、減便を実施しましたが、2024年12月1日に実施した札幌市内線などの運賃改定の効果があり、増収となりました。また、新千歳空港連絡バスにおいて、札幌都心と空港を結ぶ路線の増便や小樽と空港を結ぶ路線の新設により、増収に努めました。

貸切運送事業は、修学旅行の取り扱いが増え、増収となりました。

この結果、旅客自動車運送事業全体として、売上高は9,102百万円（対前年同期比10.1%増）、営業利益は227百万円（前年同期は396百万円の営業損失）となりました。

② 建設業

建設業は、道内の公共投資が底堅く推移し、民間設備投資が増加する中、受注状況は順調でしたが、完成工事高は減少しました。

この結果、売上高は4,820百万円（対前年同期比8.2%減）、工事原価の減少などもあり、営業利益は169百万円（同34.1%増）となりました。

③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規物件を受注したことなどにより、増収となりました。

この結果、売上高は1,688百万円（対前年同期比1.2%増）、人件費の増加などもあり、営業利益は91百万円（同16.9%減）となりました。

④ 不動産事業

不動産事業は、賃貸料の見直しなどにより、増収となりました。

この結果、売上高は408百万円（対前年同期比1.8%増）、修繕費の増加などもあり、営業利益は116百万円（同5.3%減）となりました。

⑤ 観光関連事業

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、春スキー客が増加しました。

ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、地元客向けの宿泊プランを新たに販売するなど、集客に努めました。

小樽天狗山スキー場は、映画のロケ地となったことによる知名度向上やメディア露出効果などにより、ロープウェイ利用客が増加しました。

砂川ハイウェイオアシス館は、イベントを開催するなど集客に努めました。

ワイン&カフェレストラン「小樽バイン」は、宴会スペースを新設し、宴会プランを新たに取り入れるなどリニューアルオープンしました。

旅行業は、町長がガイドを務める地域と連携したツアーなどを実施し、増収に努めました。

この結果、観光関連事業全体として、売上高は892百万円（対前年同期比13.6%増）、人件費の増加や、上半期（4月～9月）はスキー場がシーズンオフであることが影響し、326百万円の営業損失（前年同期は301百万円の営業損失）となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、下半期の売上高が上半期に比べて高くなる季節的変動があります。

⑥ その他の事業

物品販売業は、商品の取扱いが増加しました。自動車教習所は、普通車と大型二種の入校生が好調に推移したほか、高齢者講習の受講者が増加しました。介護福祉事業は、入居者が増加しました。

この結果、その他の事業全体として、売上高は1,241百万円（対前年同期比31.4%増）、介護福祉事業の損失が影響し、26百万円の営業損失（前年同期は70百万円の営業損失）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産合計は42,392百万円で、前連結会計年度末と比べ2,877百万円（7.3%）の増加となりました。これは、有価証券が1,726百万円、車両運搬具の純額が703百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は12,495百万円で、前連結会計年度末と比べ2,582百万円（26.0%）の増加となりました。これは、流動負債のその他が902百万円、支払手形及び買掛金が874百万円及び固定負債のリース債務が786百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産合計は29,896百万円で、前連結会計年度末と比べ295百万円（1.0%）の増加となりました。これは、利益剰余金が113百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表した内容の下記のとおり修正しております。

建設業において受注状況が堅調であることに加え、旅客自動車運送事業において燃料費が想定を下回って推移していることなどにより、売上高及び各利益が前回予想を上回るものであります。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	37,300	1,900	2,000	1,600	611.58
今回修正予想（B）	37,800	2,300	2,500	1,900	726.27
増減額（B－A）	500	400	500	300	—
増減率（%）	1.3	21.1	25.0	18.8	—
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	35,990	2,265	2,638	2,262	864.85

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,331,309	10,666,627
受取手形、売掛金及び契約資産	4,388,376	3,567,776
有価証券	2,575,195	4,301,480
商品	19,744	25,984
原材料及び貯蔵品	209,378	289,133
未成工事支出金	81,572	115,014
その他	250,546	226,369
貸倒引当金	△4,345	△4,469
流動資産合計	17,851,777	19,187,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,428,174	21,545,664
減価償却累計額	△16,599,548	△16,691,875
建物及び構築物（純額）	4,828,626	4,853,788
車両運搬具	26,394,450	26,656,563
減価償却累計額	△23,973,362	△23,532,037
車両運搬具（純額）	2,421,087	3,124,525
土地	9,748,842	9,766,397
その他	5,397,653	5,576,258
減価償却累計額	△4,442,254	△4,543,490
その他（純額）	955,398	1,032,768
有形固定資産合計	17,953,954	18,777,480
無形固定資産	145,948	135,200
投資その他の資産		
投資有価証券	2,772,886	2,850,396
退職給付に係る資産	375,928	375,928
その他	420,401	1,071,968
貸倒引当金	△6,587	△6,590
投資その他の資産合計	3,562,629	4,291,702
固定資産合計	21,662,532	23,204,382
資産合計	39,514,310	42,392,299

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,722,742	2,597,285
リース債務	119,212	226,337
未払法人税等	552,449	271,013
賞与引当金	225,655	361,745
その他の引当金	5,817	14,530
その他	2,511,651	3,414,616
流動負債合計	5,137,528	6,885,528
固定負債		
リース債務	817,878	1,604,217
退職給付に係る負債	2,509,504	2,465,824
役員退職慰労引当金	347,975	361,250
その他	1,100,550	1,178,816
固定負債合計	4,775,908	5,610,108
負債合計	9,913,436	12,495,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	734,307	734,307
利益剰余金	27,129,336	27,242,690
自己株式	△1,220,737	△1,220,967
株主資本合計	28,742,906	28,856,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541,575	681,590
退職給付に係る調整累計額	150,545	184,938
その他の包括利益累計額合計	692,120	866,529
非支配株主持分	165,845	174,101
純資産合計	29,600,873	29,896,662
負債純資産合計	39,514,310	42,392,299

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日）
売上高	15,901,071	16,440,090
売上原価	14,751,861	14,471,434
売上総利益	1,149,209	1,968,656
販売費及び一般管理費	1,583,133	1,755,747
営業利益又は営業損失（△）	△433,924	212,909
営業外収益		
受取利息	10,396	23,594
受取配当金	51,487	43,449
持分法による投資利益	93,151	21,022
その他	33,787	25,357
営業外収益合計	188,823	113,423
営業外費用		
支払利息	94	7,490
その他	1,378	827
営業外費用合計	1,472	8,317
経常利益又は経常損失（△）	△246,573	318,015
特別利益		
固定資産売却益	3,114	14,492
投資有価証券売却益	—	198,391
その他	295	1,350
特別利益合計	3,409	214,233
特別損失		
固定資産除売却損	33,844	36,373
投資有価証券評価損	9,999	—
その他	2,732	8,780
特別損失合計	46,577	45,154
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△289,740	487,094
法人税、住民税及び事業税	136,798	233,226
法人税等調整額	△31,058	△13,267
法人税等合計	105,740	219,959
中間純利益又は中間純損失（△）	△395,481	267,135
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△5,357	8,898
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△390,123	258,236

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	△395,481	267,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△235,915	150,924
退職給付に係る調整額	31,964	34,392
持分法適用会社に対する持分相当額	△32,306	△10,351
その他の包括利益合計	△236,257	174,965
中間包括利益	△631,738	442,101
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△626,031	432,645
非支配株主に係る中間包括利益	△5,707	9,455

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

介護福祉事業を営む「マイラシーライフサポート(株)」を、当社及び(株)泰進建設が2025年4月1日付で設立したことに伴い、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	8,218,169	5,014,472	972,316	227,604	782,699	685,809	15,901,071	—	15,901,071
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,336	236,009	696,749	174,072	3,493	258,873	1,418,535	△1,418,535	—
計	8,267,506	5,250,481	1,669,065	401,677	786,193	944,682	17,319,606	△1,418,535	15,901,071
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△396,437	126,418	110,570	122,703	△301,011	△70,328	△408,085	△25,838	△433,924

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	9,052,348	4,523,453	962,261	231,748	889,536	780,742	16,440,090	—	16,440,090
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50,434	296,606	726,012	176,980	3,326	460,529	1,713,890	△1,713,890	—
計	9,102,782	4,820,059	1,688,273	408,729	892,863	1,241,271	18,153,980	△1,713,890	16,440,090
セグメント利益又は セグメント損失(△)	227,782	169,547	91,929	116,167	△326,822	△26,442	252,162	△39,253	212,909

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しております。